

子どもたちにオンライン授業を！ 地域のチカラで公立小学校にICT機器支援

迅速な対応は難しいとされていた静岡市公立小学校へのICT機器の支援が、協働により成し遂げられました。



NPO・企業等有志

所在地：静岡市

ホームページアドレス

<https://www.congrant.com/project/shizuokafund/1619>

静岡で活動するNPO法人、一社、IT事業者、財団などから集まった有志。
企画・資金調達・広報・寄付者集め・ICT機器寄附等の支援

NPO・企業
等有志

学校応援団

所在地：静岡市葵区

ホームページアドレス なし

地域のボランティアグループ。
協働のつなぎ役、寄付者集め

地域

静岡市立賤機中小学校

所在地：静岡市葵区

ホームページアドレス

<https://shizuoka-ednet.jp/>

メール：shizuhatanaka-

e@shizuoka.ednet.jp

ICT教育プログラムの構築、オンライン授業の実施

学校

新型コロナウイルスの影響で教育格差が広がることを未然に防ぎたい。普段から市内公立小学校への応援・支援に熱意のある山本氏が発案し、共感した関係者達が、ICTを得意とする知り合いを巻き込み、お互いが役割を果たして短期でICT機器の支援を成功させました。

新型コロナウイルスがもたらす教育格差の恐れ

2020年、新型コロナウイルスが社会に大きな影響を及ぼしました。2020年5月、緊急事態宣言の延長に伴い、学校の休校期間も延長が決まりました。

こうした中、学習の遅れを最小限に抑えるべくオンライン授業が急速に注目を集めました。しかしながら、賤機学区では学校のデジタル機器やオンライン環境が整うまでは時間がかかるのではと、多くの人が心配していました。放っておけば、機材などが充実した学校との教育格差が広がってしまいかねません。

賤機中小学校のOB/OGなど地域のボランティアが参加する学校応援団は、この心配事を、教育課題に取り組む認定NPO法人しずおか環境教育研究会【エコエデュ】代表理事の山本氏に相談しました。これがきっかけとなり、この課題を解決すべく共感した関係者らが「自分たちにできることをやろう！」と、ICT関係を得意とする知り合いをさらに巻き込み、1ヶ月以内にICT機器を必要とする家庭の子どもたち全員に機器を届けることを共通目標に各々が活動を開始しました。

協働で各々が役割を果たす

山本氏の呼びかけで、普段からNPO活動を支援している(公財)ふじのくに未来財団は、NPO・企業等有志の一角として、クラウドファンディングによる資金調

達を行いました。IT事業者であるNovita ミライノスクールの内田氏は、タブレットのセットアップを担当しました。また、他のNPO・企業等有志は、寄附募集のためのホームページの企画や広報素材の写真集めなどを行いました。

学校応援団も、地元を中心にクラウドファンディングへの寄附の声かけをしました。

賤機中小学校は、ICT機器が届いた際、すぐオンライン授業が始められるよう、動画配信への初挑戦など、教育プログラムの準備や教師研修などを行いました。

いち早く公立小学校でのオンライン授業実現

5月12日からの1ヶ月の期間で実施されたクラウドファンディングでは、目標金額100万円に対し、206名からの1,194,500円の支援が得られました。

この資金を元に、モバイルWiFi端末17台およびタブレット40台が3ヶ月間レンタルされ、必要とする子どもたち全員に行きわたりました。

開始されたオンライン授業を受けた子どもたちは、「久々に友達と一緒に授業を受けて、オンライン授業が楽しみなった！」と笑顔を見せてくれました。

本クラウドファンディングでは、賤機中小学校以外の市内公立小学校2校にもICT機器を支援することができました。

Point

資金調達をクラウドファン

ディングでスピーディに成功させ、

かつ購入したICT機器を速やかに子ども

たちのオンライン授業に活用できました。

この成功要因は、共通課題をテーマに学校応援団

とNPO・企業等有志と学校とが声をかけ

合ってつながり、お互いの得意分野

での役割分担をきっちりと

実施したことです。

これからの展望

学校では、今回の協働で得られたオンライン授業の体験を、GIGAスクール実現に活用していきます。

賤機中小学校では、学校応援団や市民有志とのつながりを引き続き大切にし、地元企業と連携したプログラミングの体験学習の実施、教育について語り合う座談会の開催、「地域の人を喜ばせよう」をテーマとした探究学習（ミニるるぶ牛妻～地域の魅力発信～）などに取り組んでいきます。

